

● 法人概要

名称 一般社団法人横浜みなとみらい21 所在地 〒220-0012
設立日 平成21年2月23日 横浜市西区みなとみらい2丁目3番5号
事業開始日 平成21年4月1日 クイーンズスクエア横浜 クイーンモール3階
TEL 045-682-0021
FAX 045-682-4400

URL 横浜みなとみらい21公式ウェブサイト <http://www.minatomirai21.com/>
横浜みなとみらい21地区の街づくり <http://www.ymm21.jp/>

● 設立目的

みなとみらい21地区の街づくりに関わる多様な主体が一体となってエリアマネジメントを実践することにより、当地区の魅力を高め、質の高い都市環境の維持・向上を図り、活力あふれる国際文化都市・横浜の発展に寄与します。

● 主な事業

街づくり調整事業

時代の変化に適応した街づくりを進めていくため、みなとみらい21地区全体の街づくりの方向性を議論し、共有化を図り、対応策を検討し実施します。

環境対策事業

みなとみらい21地区における業務・商業活動等を通じて、地球環境への負荷軽減に向け、ハード面からソフト面まで幅広く多様な活動を展開します。

文化・プロモーション事業

みなとみらい21地区の状況や地区内で行われている活動について、地区内外に発信していきます。また、より良い街を形成するため、街の快適性の維持・向上を図る活動を推進します。



エリアマネジメント憲章

基本理念

■ 多様な活動が共存し豊かな都市文化を醸成する

多様な活動が共存しお互いに影響し合うことで、みなとみらい21ならではの豊かな都市文化を育み、内外の人々がそれを享受できる街を目指します。

■ 安全で高質な心地よい都市環境を形成する

世界に誇りうる端正で風格を持った都市景観、その場に身を置くことでゆとりと心地良さを感じることができる都市の環境の形成を目指します。

■ 「みなとみらい21」のブランドを育成・確立・発信する

この街に係わる様々な立場の人々が街に愛着を持ち、誇りを感じるような地区のブランドを形成し、広く世界に発信します。

みなとみらい21インフォメーション 2015 Vol.86

企画・発行 横浜市都市整備局みなとみらい21推進課
〒231-0017 横浜市中区港町1丁目1番地
TEL(045)671-2038 FAX(045)651-3164

横浜市港湾局資産活用課

〒231-0023 横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル
TEL(045)671-7341 FAX(045)651-7996

一般社団法人横浜みなとみらい21

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい2丁目3番5号 クイーンズスクエア横浜 クイーンモール3階
TEL(045)682-0021 FAX(045)682-4400

発行 2015 (平成 27) 年 3 月



MINATOMIRAI 21

Information

みなとみらい21の計画概要

vol. 86
2015



いつも新しい時代を目指す街「横浜」

横浜は開港以来150年以上に渡り、日本を代表する国際港湾都市としての役割を担い、その機能は現在にも脈々と受け継がれています。横浜はその歴史的資産や丘・川・海の豊かな自然を活かしながら、活力ある自立した国際文化都市の実現を目指し、都市づくりを進めています。



創造都市横浜

横浜は、1859年の開港以来、世界各国との人・文化・ものの交流の場として栄え、開放的な進取の気風を培ってきました。また、日本近代化の原点の地であり、世界に開かれた都市として発展してきました。現在も、人口371万人を有する国際都市として成長を続けています。

横浜は日本有数の国際貿易港があるだけでなく、再拡張・国際化された羽田空港をはじめ首都圏各地からの良好なアクセス、緑豊かな住環境や優秀な人材、首都圏という広大なマーケットなど、ビジネスに必要な都市環境が整っています。そして、2013年には第5回アフリカ開発会議（TICAD V）が開催されるなど、コンベンション開催の地として、また観光地として国内外から多くの方々を訪れ交流する、活気にあふれる街でもあります。

特に、みなとみらい21地区は、高水準のインフラが整備され、歴史やウォーターフロントの景観を活かした街並みの形成など、快適なビジネス環境を備えた街として、年間7,600万人が訪れ、9万8,000人が働く、首都圏を代表する街として成長を続けています。これからも、業務、商業の集積を図るとともに、開港都市としての歴史や文化の資産を活かしながら、感動と新たな価値を生み出す、文化芸術活動による都市の活性化を目指し、創造的産業や人材の集積を図るための都市環境を形成していきます。

横浜の現状

面積	435.21km ² [2015(平成27).2.1]
人口	3,710,824人 [2015(平成27).2.1]
世帯数	1,632,451世帯 [2015(平成27).2.1]
市内総生産	12兆5,960億円 [2011(平成23)]
1人あたり市民所得	292万円 [2011(平成23)]
横浜港の貿易額	10兆9,216億円 [2013(平成25)]
民営事業所数	126,803事業所 [2012(平成24).2.1]
民営事業所従業員数	1,428,600人 [2012(平成24).2.1]
外資系企業本社数	176社 [2014(平成26)]
上場企業	107社 [2014(平成26).9]
大学数	13校 [2014(平成26).12.19]
短期大学数	4校 [2014(平成26).12.19]

目次

- 2** いつも新しい時代を目指す街「横浜」
- 3** みなとみらい21 事業の目的と目指す都市像
- 5** みなとみらい21 計画の概要と街づくりの方法
- 7** 災害に強く快適な都市空間を整備
 - 臨海部土地造成事業(埋立事業) ■土地区画整理事業
 - 港湾整備事業
- 8** ■共同溝 ■地域冷暖房システム
 - 内質バース(耐震バース) ■災害用地下水タンク
- 9** 着々と整備が進む交通ネットワーク
 - 主要道路・鉄道 ■バス・海上交通
- 10** ■幹線道路 ■歩行者ネットワーク ■近隣地区との一体化
- 11** 水と緑を活かした街づくり
 - 赤レンガパーク(2街区)
 - 象の鼻パーク(3街区)
 - 新港中央広場(8街区)
 - カップヌードルミュージアムパーク(10街区)
 - 汽船道/運河パーク/プロムナード(17街区ほか)
 - 臨港パーク(19街区)
 - 日本丸メモリアルパーク(23街区)
 - グランモール公園(35街区ほか)
 - 高島中央公園(51街区)
 - 高島水際線公園/水際線プロムナード(64街区ほか)
- 12** 快適なビジネス環境と多機能な空間を創出
 - パンフィコ横浜(横浜国際平和会議場)(18・22街区)
 - クイーンズスクエア横浜/横浜みなとみらいホール(24街区)
 - 横浜ランドマークタワー/ドックヤードガーデン(25街区)
 - 横浜みなと博物館(23街区)
 - クロスゲート(26街区)
- 13** ■横浜桜木郵便局(27街区)
 - 富士ソフトビル(27街区)
 - TOCみなとみらい(28街区)
 - 県民共済プラザビル(29街区)
 - 横浜銀行本店ビル(30街区)
 - 白石横浜ビル(30街区)
 - みなとみらい21クリーンセンター(31街区)
 - けいゆう病院(32街区)
 - 神奈川県警察みなとみらい分庁舎(32街区)
 - (仮称)MM21地区32街区プロジェクト(32街区)
- 14** ■みなとみらいビジネススクエア(33街区)
 - MMパークビル(33街区)
 - みなとみらいセンタービル(33街区)
 - MARK IS みなとみらい(34街区)
 - 横浜美術館(36街区)
 - 三菱重工横浜ビル(37街区)
 - 横浜メディアタワー(41街区)
 - リーフみなとみらい(42街区)
 - みなとみらいグランドセントラルタワー(42街区)
 - PRIME GALLERYみなとみらい(43街区)
- 15** ■アルカエフ(44街区)
 - グローバルラーニングセンター(45街区)
 - 横浜ブルーアベニュー(46街区)
 - 横浜アイマークプレイス(46街区)
 - 横浜野村ビル(46街区)
 - 横浜アンパンマンこどもミュージアム&モール(48街区)
 - シンクロナ本社ビル/新館(増築棟)(49街区)
 - (仮称)MM21地区55-2街区開発計画(55-2街区)
 - (仮称)オーケーみなとみらい本社ビル(59街区A区画)
 - (仮称)MM59街区B区画開発計画(59街区B区画)
- 16** ■国土交通省関東地方整備局京浜港湾事務所(59街区)
 - 横浜みなとみらいスポーツパーク(60街区)
 - マリノスタウン(61街区)
 - 富士ゼロックス R&D スクエア(65街区)
 - 日産自動車株式会社 グローバル本社(66街区)
 - 横浜三井ビルディング(67街区)
 - 高層(都市型)住宅(32・39・40・41・50・59街区)
- 17** ■横浜新都市ビル/スカイビル(68街区)
 - 横浜海上防災基地(1街区)
 - 赤レンガ倉庫(2街区)
 - (仮称)MM21新港地区4街区開発事業(4街区)
 - JICA横浜(11-1街区)
- 18** ■カップヌードルミュージアム(11-2街区)
 - Audiみなとみらい(11-2街区)
 - グランドオリエンタルみなとみらい(11-2街区)
 - 横浜みなとみらい万葉倶楽部(11-3街区)
 - 横浜ワールドポーターズ(12・14街区)
 - 横浜国際船員センター「ナビオス横浜」(13街区)
 - よこはまコスモワールド(15街区ほか)
 - アニヴェルセル みなとみらい横浜(16街区)
- 19** みなとみらい21 事業の経過
- 21** みなとみらい21 開発状況図

進出企業への支援

横浜市企業立地促進条例による支援(みなとみらい21地域)

■建設投資・設備投資に対する支援

〈対象〉自らの事業所を設置するために固定資産(土地・家屋・償却資産)を取得する場合
 ・事業所として賃貸する部分が一定規模以上の賃貸業務ビルを設置するために固定資産を取得する場合(この場合、ホテルや観光・エンターテインメント施設として賃貸する部分も支援対象)
 ・ホテルや観光・エンターテインメント施設を設置するために固定資産を取得する場合

【軽減】固定資産税・都市計画税の税率を5年間1/2に軽減
 【助成金】土地・家屋・設備の取得費等(投下資本額)をもとに算定した助成金を交付
 (助成率) 本社、研究所、ホテル、観光・エンターテインメント施設:投下資本額の12%
 賃貸業務ビル:投下資本額の10% 事務所:投下資本額の5%
 (上限額) 家屋・設備:40億円 土地:10億円(家屋と併せて取得する場合)

投下資本額		支援内容	
中小企業者	大企業者	税軽減	助成金
1億円以上 5億円未満	10億円以上 50億円未満	○	—
5億円以上	50億円以上	○	○

■テナントの進出等に対する支援

〈対象〉本社機能・研究所を設置するため従業員100人以上の規模でオフィスを賃借する場合
 【助成金】法人市民税(法人税割額)に相当する額(最大1億円/年)を4年間
 (外資系企業は5年間)、助成金として交付

※それぞれ一定の要件を満たす必要があります。
 ※ほかにも、横浜市に進出する企業のための支援制度があります。
 ※詳細については、下記ホームページをご参照ください
 企業誘致ガイド:<http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/yuchi/support/>
 問合せ先:横浜市経済局誘致推進課 TEL 045-671-2594
 横浜市都市整備局みなとみらい21推進課 TEL 045-671-3517

みなとみらい21 事業の目的と目指す都市像

みなとみらい21事業の目的

1. 横浜の自立性の強化

横浜の都心部は関内・伊勢佐木町地区と横浜駅周辺地区に二分されていました。みなとみらい21地区は、この2つの都心を一体化し、ここに企業やショッピング・文化施設などを集積します。これにより市民の就業の場や賑わいの場を創出し、経済の活性化と経済基盤を確立することで、横浜の自立性を強化します。

2. 港湾機能の質的転換

海辺に臨港パークや日本丸メモリアルパークなどの公園や緑地を整備し、市民が憩い、親しめるウォーターフロント空間をつくります。そのほか、国際交流機能や港湾管理機能を集積します。

3. 首都圏の業務機能の分担

首都圏の均衡ある発展を目指し、東京に集中した首都機能を分担する最大の受け皿として、業務・商業・国際交流などの機能の集積・拡大を図ります。



みなとみらい21の都市像

1. 24時間活動する国際文化都市

コンベンション機能を備えた国際交流拠点として、パシフィコ横浜（横浜国際平和会議場）を中心に、オフィス、文化施設、商業施設、都市型住宅など、様々な機能を有機的に結合。世界各地の動きに常時対応する、活気に満ちた国際色あふれる魅力的な街をつくります。

2. 21世紀の情報都市

先端技術・知識集約・国際業務などの分野で活動する企業の中核管理部門や研究開発部門をはじめ、国の行政機関などの業務機能を集積し、経済・文化など、様々な情報を創造・発信する情報都市として機能していきます。

3. 水と緑と歴史に囲まれた人間環境都市

ウォーターフロントの貴重な特性を活かし、人間と自然とが溶け合ううまいのある街づくりを進め、水際に広がる大規模な緑地などを整備し、緑のネットワークを形成します。また、横浜の歴史を象徴する赤レンガ倉庫や石造りドックなどを保存・活用し、水と緑の中で歴史の香りが漂う、開放的な都市環境を実現します。

みなとみらい21地区の方向性

みなとみらい21地区は国の戦略に位置づけられた3つの制度（「環境未来都市」「国際戦略総合特区」「特定都市再生緊急整備地域」）に関する指定を受けた全国唯一のエリアです。それぞれの制度の意義やメリットを十分活用し、国際競争力の強化を図っていきます。

環境未来都市

環境問題から高齢化社会などに対応する環境未来都市の施策・取組を発信、実践

「環境未来都市」とは、環境問題や超高齢化などへの対応で優れた成功事例を生み出すことを期待された、先進的なモデル都市のことです。みなとみらい21地区は開発当初より世界に誇れる良好な都市環境を目指し、省エネ対応の計画的インフラ整備、環境にやさしい交通ネットワーク、水・緑を活かした街づくりを推進しています。

今後も横浜スマートシティプロジェクト、みなとみらい2050プロジェクトをはじめとした様々な取組をみなとみらい21地区で展開、情報発信し、街の魅力を活かしつつ、成長を続けられる活力に満ちた街を目指します。

京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区

医療、バイオ等のコンベンション開催や関連企業誘致によるライフイノベーションへの貢献

みなとみらい21地区は、横浜市末広・福浦、川崎市殿町地区とともに、日本の経済成長のエンジンとなる産業・機能の集積拠点の形成を目的とした国際戦略総合特区に指定されました。

みなとみらい21地区は、パシフィコ横浜で開催される医学系学会やバイオ関連の展示会を活用した、情報発信拠点となっています。今後はさらに、医学系学会等の開催誘致や、関連企業の集積を進めるなど、医療・健康関連分野の発展に貢献していきます。

特定都市再生緊急整備地域

国際競争力の強化に資する都市開発事業、地区内外のアクセス性・回遊性の強化に向けたインフラ整備の推進

みなとみらい21地区（中央地区・横浜駅東口地区）を含む横浜都心・臨海地域（約233ヘクタール）が、都市の国際競争力を強化するため、市街地の整備を重点的に進める「特定都市再生緊急整備地域」に指定されました。

国の成長を牽引するエリアとしての役割を担うため、さらなる開発促進やエリアマネジメントの推進により、新たなビジネスの機会を生み出すアジアの拠点を目指していきます。

みなとみらい21マスタープラン



マスタープランはイメージであり、「地区計画」や「街づくり基本協定」等を正確に反映したものではありません。

土地利用計画

宅地(業務・商業・住宅など)	87ha
道路・鉄道用地	42ha
公園・緑地など	46ha
ふ頭用地	11ha
計	186ha

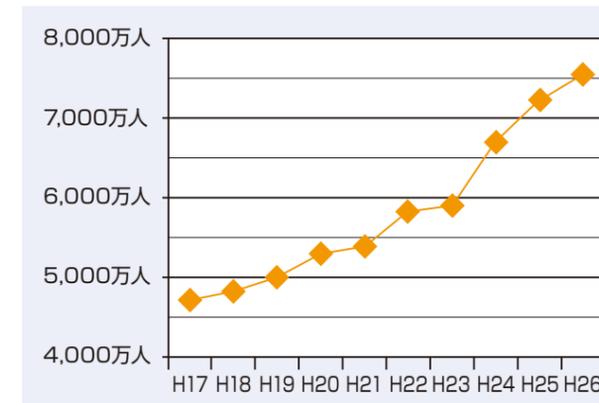
みなとみらい21事業の効果

就業人口	約98,000人<2014(平成26)年>
来街者数	約7,600万人<2014(平成26)年>
進出企業	約1,730社<2014(平成26)年>
国際会議開催件数	42件<2013(平成25)年>
市税収入	159億円<2013(平成25)年度>

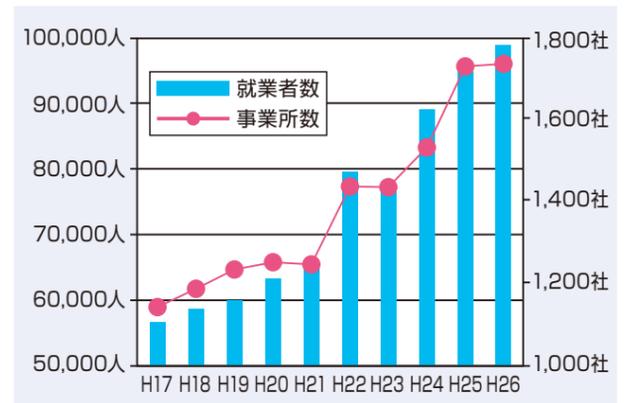
横浜市内経済への波及効果<2010(平成22)年度>

建設投資による効果	約2兆6,585億円(累計)
事業活動による効果	約1兆7,556億円(年間)

年間来街者数の推移



就業者及び事業所数の推移



みなとみらい21 計画の概要と街づくりの方法

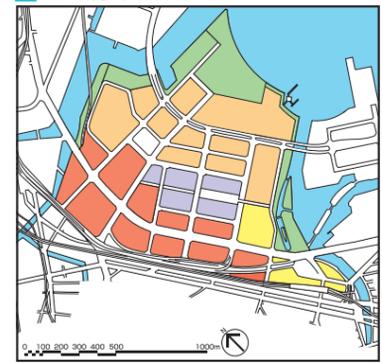
みなとみらい21地区では、海などの周辺の環境や中央地区、新港地区のそれぞれの地区特性に合わせて、街づくりの考え方や手法を定めて、市民が快適に働くための空間、レジャーやショッピングなどで憩い、楽しむための空間、安全で豊かに生活する空間などを創出するために、都市景観にも優れた広く人々があこがれる街づくりを計画的に進めています。

中央地区

街づくり基本協定

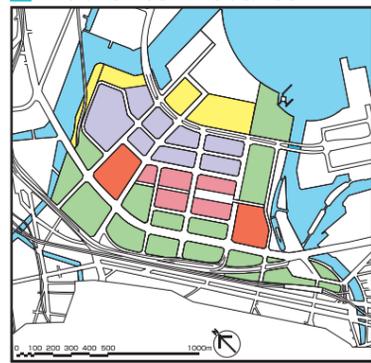
<http://www.ymm21.jp/city-info/development/rule/agreement.html>
1988(昭和63)年にみなとみらい21中央地区の地権者等で「みなとみらい21街づくり基本協定」が締結されました。この協定は、地権者の間で街づくりについてのルールを自主的に定め、その基本的な考え方を共有し調和のとれた街づくりを進めることを目的としています。
この協定には、街づくりのテーマや土地利用イメージとともに、
●水と緑 ●スカイライン・街並・ビスタ
●コモンスペース(パブリックアートの積極的な設置等)
●アクティビティフロア ●色調・広告物 ●駐車場・駐輪場
などの、街づくりについての基本的な考え方が示されています。
また、建築物については、敷地規模、高さ、ペDESTリアンネットワーク、外壁後退などの基準が示され、高度情報化社会への対応、都市防災、環境や周辺市街地への配慮など、都市管理に関する項目についても規定されています。

土地利用イメージ



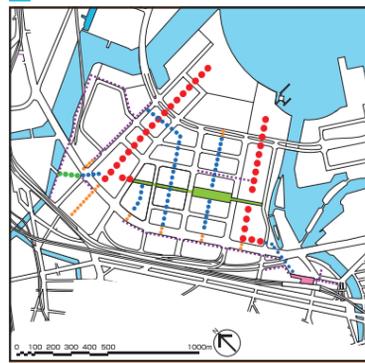
- ビジネスゾーン
- プロムナードゾーン
- 国際ゾーン
- 商業ゾーン
- ウォーターフロントゾーン

建築物等の高さの最高限度



- 高さの最高限度 300m
- 高さの最高限度 100m
- 高さの最高限度 180m
- 高さの最高限度 60m
- 高さの最高限度 120m
- ※ただしグランモール沿いは、奥行き10mの範囲で20m以下とする。

ペDESTリアンネットワーク



- 幅員15m以上
- 幅員6m以上
- 幅員12m以上
- 幅員4m以上
- 幅員8m以上
- 幅員4m以上
- グランモール
- 広場

中央地区都市景観形成ガイドライン

<http://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/mm21/keikan/>

「景観法の景観計画」及び「横浜市魅力ある都市景観の創造に関する条例の都市景観協議地区」に基づくルールで、より良い都市景観の創造を目指しています。

基本項目は以下のものです。

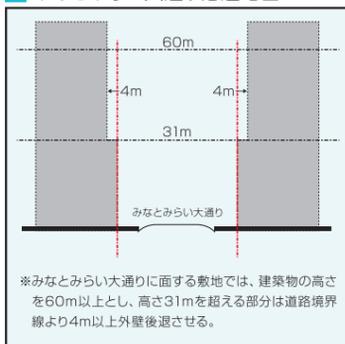
- アクティビティフロア
- 夜間照明
- 歩道状空地
- 建築デザイン
- コモンスペース(広場状空地)
- スカイライン
- 駐車場
- 沿道通景
- 駐輪場
- 屋外広告物
- 付属設備等
- にぎわい形成
- 色彩

区域図



- ガイドライン対象区域
- みなとみらい大通り沿道地区
- 壁面の位置の制限
- 景観重要都市公園
- 景観重要港湾施設

みなとみらい大通り沿道地区のルール



※みなとみらい大通りに面する敷地では、建築物の高さを60m以上とし、高さ31mを超える部分は道路境界線より4m以上外壁後退させる。

道路境界線

新港地区

歴史と景観を活かした再開発

みなとみらい21中央地区と開港以来の街・関内山下地区との結節点に位置する新港地区は、わが国初の近代的な港湾施設として、明治後期から大正初期にかけて建設されました。赤レンガ倉庫に代表される懐かしい港の風景や石畳などが長い歴史を物語っています。再開発にあたっては、これらの歴史的資産や港の景観の保全に十分配慮したうえで、横浜港を支える港湾関連業務施設や、静穏な水面を活かした緑地などを整備しています。

新港地区の個性と街づくり像

新港地区は、赤レンガ倉庫をはじめとした歴史的資産が数多く残されていることや、「島」という地形的特徴など、個性豊かな街です。そのため、土地の高度利用により未来型街づくりを進めている中央地区とは趣を異にし、港と歴史を感じることができる、ゆったりとした街並みの形成など、次のテーマに沿って街づくりを進めています。

- 1 港の情景・歴史の継承**
近代港湾発祥の地としての歴史性と島としての個性を活かした街づくり
- 2 快遊ネットワーク**
新しい街・みなとみらい21中央地区と開港以来の街・関内山下地区を結ぶ街づくり
- 3 新しいみなとまち**
人のミナト、情報のミナト。賑わいとうるおいに満ちた新しいみなと街づくり

新港地区街並み景観ガイドライン

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kowan/business/keikan>

良好な街並み景観を誘導するために、「景観法の景観計画」「横浜市魅力ある都市景観の創造に関する条例の都市景観協議地区」に基づくルールを定めています。

- 方針1 みなとの情景の演出**
 - ①海に向かってゆとりを持ち、連続性が感じられる街並みをつくります。
 - ②開放的で居心地のよい水域・水際線の風景をつくります。
- 方針2 歴史の継承**
 - ③歴史的シンボルとしての赤レンガ倉庫への見通し景観を守ります。
 - ④歴史性を意識し、高さを抑えたまとまりのある街並み景観をつくります。
- 方針3 “島”としての個性の演出**
 - ⑤歴史やみなとらしさを活かしたシークエンス景観をつくります。
 - ⑥歩いて楽しく、賑わいのある街並みをつくります。
 - ⑦周辺地区からの見下ろし景観を意識します。

新港地区地区計画

<http://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/tikuikaku/c-036.html>

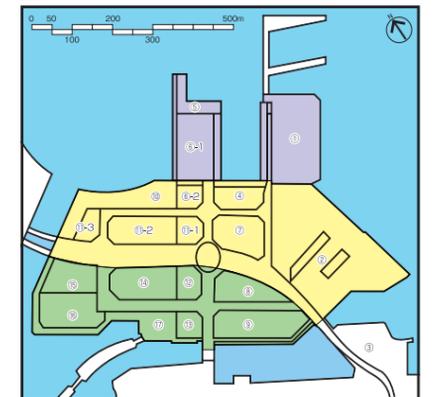
高層ビル群による中央地区の未来型街づくりに対し、ゆったりとした調和のとれた街並みを形成するため、1997(平成9)年4月に「みなとみらい21新港地区地区計画」が決定されました。

土地利用計画図



- 岸壁
- 道路
- 緑地
- 街区

地区整備計画における建築物の高さの最高限度

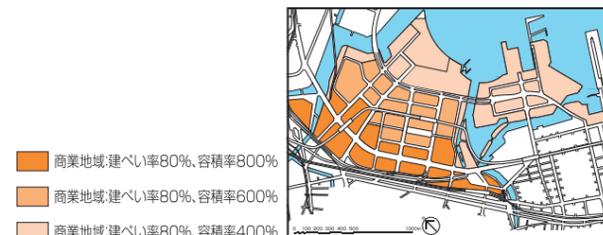


- 最高高さ31m
- 最高高さ20m
- 最高高さ31m ただし、部分的に45mまで可

中央地区・新港地区

都市計画(用途地域)

市民の就業の場や賑わいの場の創出を目的としているみなとみらい21地区は、都市計画法により全域が商業地域に指定されています。



- 商業地域・建ぺい率80%、容積率800%
- 商業地域・建ぺい率80%、容積率600%
- 商業地域・建ぺい率80%、容積率400%

緑のネットワーク

みなとみらい21地区では、ウォーターフロントという恵まれた立地条件を活かすため、水際線に特色のある緑地を配置し、それぞれの緑地をプロムナードで結んでいます。また、中央地区の中心にグランモール公園を整備し、みなとみらい21地区全体で緑のネットワークを形成しています。

- 公園・緑地等

災害に強く快適な都市空間を整備

みなとみらい21地区の基盤整備は臨海部土地造成事業、土地区画整理事業、港湾整備事業など、各種の事業を組み合わせ実施しています。その中で、共同溝や耐震バースなど、災害に強い都市の骨格を整備しています。また、都市機能を支える供給施設には、21世紀にふさわしい各種の新システムを積極的に取り入れています。



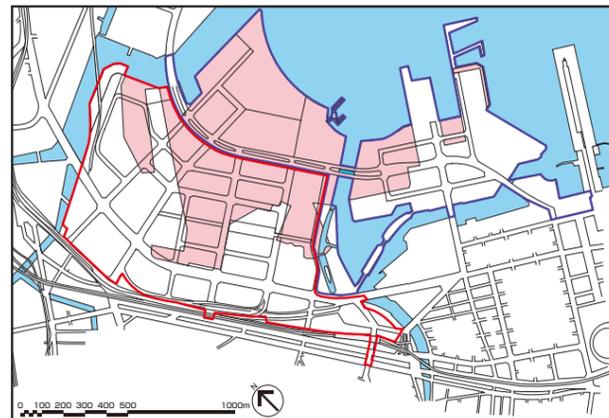
1983(昭和58)年

2015(平成27)年1月

臨海部土地造成事業(埋立事業)

1998(平成10)年3月に新港地区の埋立が竣工し、これにより、埋立は概ね完了しています。

現況	中央地区:中央地区59.9haについては、一部を除き1992(平成4)年4月までに竣工。 また高島地区5.5haについては1996(平成8)年11月竣工。 新港地区—文字地区7.3haについては1995(平成7)年4月竣工。 また、突堤開1.2haについては1998(平成10)年3月竣工。
施行期間	1983(昭和58)年12月から2015(平成27)年8月まで
事業総面積	約73.9ha(他に国埋立地約1.0haあり)
事業主体	横浜市



区分	事業名	事業主体
	臨海部土地造成事業	横浜市港湾局
	土地区画整理事業	独立行政法人都市再生機構
	港湾整備事業	横浜市港湾局、国

土地区画整理事業

みなとみらい21中央地区の都市基盤整備を進める基幹事業として、土地区画整理事業を実施し、2006(平成18)年6月に換地処分を行い、2011(平成23)年3月に事業を完了しました。

現況	桜木駅前広場、みなとみらい大通りやみなとみらい11号~6号線などの街路及びグランモール公園を始めとする公園等を整備し完了。
施行期間	1983(昭和58)年11月から2011(平成23)年3月まで(清算期間5年含む)
事業総面積	約101.8ha
事業主体	独立行政法人都市再生機構
事業経過	1983(昭和58)年11月 土地区画整理事業に係る建設大臣の事業認可(35.1ha) 1987(昭和62)年7月 事業計画について変更認可(63.4haに拡大) 1989(平成元年)1月 事業計画について変更認可(74.3haに拡大) 1992(平成4)年3月 旧国鉄高島ヤード部等(21.9ha)を事業区域に編入 1995(平成7)年2月 事業計画について変更認可 (平成15年度<清算期間5年含む>まで期間延長) 1999(平成11)年3月 事業計画について変更認可 (平成22年度<清算期間5年含む>まで期間延長期間延長及び事業区域を101.8haに拡大) 2003(平成15)年9月 事業計画について変更認可(101.8haに拡大) 2005(平成17)年12月 事業計画について変更認可 2006(平成18)年6月 換地処分公告 2011(平成23)年3月 事業完了

港湾整備事業

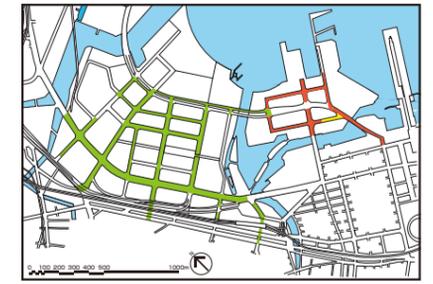
港湾整備事業では、緑地、道路、その他の港湾施設の整備を進めています。

現況	臨港パーク、内貿バースの整備を進め、一部を除き完了。
事業開始	1983(昭和58)年度
事業総面積	約77.9ha
事業主体	横浜市、国土交通省

共同溝

先進都市のバックボーン

地区内の幹線道路の地下には、都市機能を支える供給処理施設を収容する共同溝を設置しています。これにより、道路部分の地下空間を有効利用し、都市災害の防止及び都市景観の向上を図ります。中央地区では、みなとみらい21地区の街づくりに合わせて、1983(昭和58)年度から順次整備を進め、2004(平成16)年に完成しました。また、新港地区では電線共同溝の整備を進めています。



現況	みなとみらい大通り、国際大通り、いちよう通り、けやき通り、さくら通り、桜木東戸塚線等の共同溝(延長約7.0km)を供用中。
収容物件	水道管、通信線、電力線、中圧ガス管、廃棄物輸送管、地域冷暖房管等
事業主体	横浜市

共同溝	電線共同溝
整備済区間	供用済区間
	整備計画区間

地域冷暖房システム

熱エネルギーを効率的に活用

冷温熱を集中的に製造・供給・管理してエネルギーを効率的に供給する地域冷暖房システムを採用し、公害や都市災害のない安全な都市生活を実現しています。センタープラントは低廉な深夜電力を使用するSTL潜熱蓄熱システムを採用、また第2プラントでは、高効率の大型電動ターボ冷凍機の採用により、CO₂排出量の低減と省エネルギーを図っています。今後、供給区域の拡大に合わせて、環境に配慮した効率の良い熱源機器の増設を進めていきます。

現況	センタープラント及び第2プラントが稼働しています。
熱供給開始	1989(平成元)年4月
供給エリア面積	約105ha(経済産業省許可部分)*
設備能力	◆センタープラント(31街区) 地上6階、地下1階、延床面積約11,000㎡ 冷凍能力:18,160RT* ボイラー能力:128.6 t/h* ◆第2プラント(24街区) 地下4-5階、延床面積 約10,000㎡ 冷却能力: 35,000 RT* ボイラー能力: 112.0 t/h*
事業主体	みなとみらい二十一熱供給株式会社 *2015(平成27)年3月現在



内貿バース(耐震バース)

緊急時にも対応できる物資供給施設

内貿バース(21街区)は、市民の生活関連物資等を取り扱う施設です。岸壁は耐震性を強化し、地震等の災害時には緊急物資輸送などの役割を担います。

現況	耐震岸壁が完成し、後背地はヘリポートで暫定的利用が図られています。
事業開始	1985(昭和60)年度
接岸許容量	5,000D/W級(2バース)
岸壁水深	-7.5m
岸壁延長	260m
事業主体	横浜市、国土交通省



災害用地下給水タンク

緊急飲料水が確保できる貯水槽

災害用地下給水タンクは、災害などの非常時に必要な飲料水を貯留する施設です。このタンクは、水道管の途中に接続してあるので、常時水道水がその中を流れる仕組みになっています。みなとみらい21地区には大型災害用地下給水タンクが4基設置されており、災害時には、50万人分の新鮮な飲料水を3日分確保できます。

設置場所	ヨーヨー広場地下: 1,000㎡	1993(平成5)年整備
	臨港パーク地下: 700㎡	1994(平成6)年整備
	カブヌードルミュージアムパーク地下:1,300㎡	2000(平成12)年整備
	高島中央公園地下: 1,500㎡	2005(平成17)年整備
貯水量	地区全体で4,500㎡	
事業主体	横浜市、独立行政法人都市再生機構	



着々と整備が進む交通ネットワーク

東京をはじめ主要都市や海外との往來の利便性は都市に不可欠な機能です。みなとみらい21地区は国内外へのスムーズな移動を実現する交通環境が整っています。

主要道路・鉄道

羽田空港から約20分

みなとみらい21地区は、地区外からの交通アクセスに優れています。東京駅からは鉄道で約30分、他の地域からのアクセスについても、東海道新幹線新横浜駅からは地下鉄などで約15分。さらに羽田空港からは首都高速湾岸線で約20分、成田空港からも車で約85分と、国内、国外を問わずスムーズに移動できます。

主要道路と鉄道ネットワーク



主要ターミナルからの所要時間		※乗り換え時間は含まれていません。	
池袋駅	東京メトロ副都心線 約11分(急行)	渋谷駅	東急東横線 約25分(特急)
東京駅	JR東海道線 約25分	新横浜駅	JR東海道新幹線 約11分
新宿駅	JR横須賀線 約30分	新横浜駅	JR東海道新幹線 約11分
羽田空港	京浜急行線 約28分(エアポート急行)	新横浜駅	JR東海道新幹線 約11分
成田空港	JR成田エクスプレス 約87分	新横浜駅	JR東海道新幹線 約11分
関西方面	JR東海道新幹線 約11分	新横浜駅	JR東海道新幹線 約11分
		みなとみらい線	約3分(特急)
		JR桜木町駅	約3分
		JR桜木町駅	約3分
		地下鉄桜木町駅	約4分

みなとみらい線

横浜駅と元町・中華街駅を結ぶ「みなとみらい線」は、2013(平成25)年3月から、東急東横線と東京メトロ副都心線との相互直通運転により、渋谷、新宿、池袋を経て埼玉県南西部方面とも結ばれています。



事業経過	1992(平成4)年 事業着手 2004(平成16)年2月 開業
区間等	横浜駅～元町・中華街駅、延長4.1km(営業キロ)、全線複線式地下構造
事業主体	横浜高速鉄道株式会社

バス・海上交通

バス ～ 快適なネットワーク ～

みなとみらい21地区と羽田空港や成田空港を直接結びリムジンバスが運行されています。地区内では、複数の路線バスのほか、近隣の観光スポットも周遊する「あかいくつ」が大人100円、小児50円で運行しています。また、パシフィック横浜や横浜美術館に観光バス駐車場が整備されています。



あかいくつ

海上交通 ～ 海からの身近なアクセス ～

みなとみらい21地区は海からのアクセスも確保されています。みなとみらいふかりさん橋などを乗降場所として水上バスなどが運航されています。

航路	横浜駅東口→みなとみらいふかりさん橋→ピア赤レンガ→山下公園 運河パーク→日本丸メモリアルパーク→大さん橋 ピア象の鼻→日本丸メモリアルパーク→運河パーク
運航主体	株式会社ポートサービズ、京浜フェリーポート株式会社



みなとみらい ぶかりさん橋

みなとみらいふかりさん橋

竣工	1991(平成3)年11月
規模	さん橋長さ70mと50mの2基(4バース)の浮きさん橋 ターミナル部分鉄骨2階建て延床面積 約500㎡ 潮の干満により、高さが2m程度上下する浮体構造

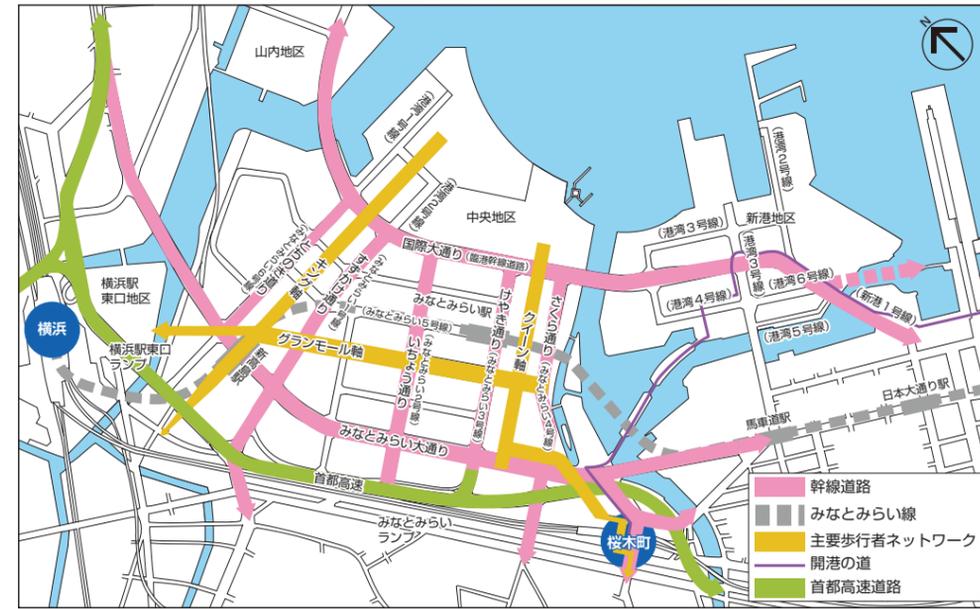
ピア赤レンガ

竣工	2004(平成16)年3月
規模	さん橋長さ50m×幅8mの浮きさん橋 ターミナル部分約13m×4m

ピア象の鼻

竣工	2009(平成21)年6月
規模	さん橋長さ25m×幅4.5mの浮きさん橋

幹線道路



みなとみらい大通り



国際大通り



さくら通り

地区内外を結ぶ道路網

地区内には、みなとみらい21地区の都市機能を支え、首都高速神奈川1号線横羽線とも接続する「みなとみらい大通り」と、新港地区と山内地区とを結び、地下と地上の二層構造の臨港幹線道路である「国際大通り」の2本の主要幹線道路が整備されています。さらにこれら2本の主要幹線道路を結ぶ幹線道路等も整備され、歩道に植えられた街路樹の名で呼ばれています。

みなとみらい大通り

全面供用開始	2002(平成14)年4月
総延長	約2.7km
幅員	40m(上下6車線)

国際大通り

全面供用開始	2013(平成25)年3月 (みなとみらいトンネル開通)
総延長	約2.2km
幅員	標準幅員46m

その他の幹線道路

全面供用開始	2005(平成17)年3月 (とちのき通り開通)
--------	-----------------------------

歩行者ネットワーク

主要な歩行者軸としては、横浜ランドマークタワー側からパシフィック横浜ヘインナーモールに連なる「クイーン軸」、横浜駅側から臨港パークを結ぶ「キング軸」、2つを結び形で交差する「グランモール軸」の3つの軸で骨格を形成しています。桜木町駅側からは、地区の玄関口であり、イベント開催も可能な「桜木町駅前広場」と屋根に太陽光発電を導入した「動く歩道」を通過して、「クイーン軸」につながります。また、横浜駅方面からは「はまみらいウォーク」が整備され、続く「みなとみらい歩道橋」によって「キング軸」、「グランモール軸」へとつながります。



桜木町駅前広場

供用開始	2002(平成14)年3月
総面積	約17,200㎡



動く歩道

供用開始	1989(平成元)年3月
延長	約230m
幅員	約12m



はまみらいウォーク

供用開始	2009(平成21)年7月
延長	約100m
幅員	約12m



みなとみらい歩道橋

供用開始	2010(平成22)年3月
延長	約70m 幅員約8m (66～54街区間デッキ)
延長	約62m 幅員約6m (66～65街区間デッキ)
延長	約11m 幅員約12～20m (66街区間デッキ)

近隣地区との一体化

近隣地区と一体化を図る歩行者動線として、赤レンガパークから山下公園方面へ鉄道高架橋を活用した「山下臨港線プロムナード」や、野毛地区と地下横断施設で結ぶ「野毛ちかみち」、高島二丁目地区と国道1号を横断して結び、キング軸に至る「高島二丁目歩道橋」が整備されています。



山下臨港線プロムナード

供用開始	2002(平成14)年3月
延長	約550m
幅員	約3.5～6m



野毛ちかみち

供用開始	1999(平成11)年4月
延長	約102m
幅員	約25m



高島二丁目歩道橋

供用開始	2008(平成20)年8月
延長	約80m
幅員	約6m

水と緑を活かした街づくり

文化施設や歴史的建造物の保存・活用、アミューズメント施設など、魅力的な都市空間を創造するみなとみらい21地区では、うるおいとやすらぎのある街づくりを目指して、水と緑を活かした公園や緑地の整備を進めています。

赤レンガパーク (2街区)

赤レンガ倉庫を中心に、旧横浜税関事務所跡の遺構や旧横浜港（よこはまみなと）駅のプラットホームを保存・活用するなど、歴史と景観を活かした緑地となっています。



着工	1989 (平成元) 年度
オープン	2002 (平成14) 年4月
総面積	約5.5ha
主な施設	赤レンガ倉庫、プラットホーム、旧横浜税関事務所跡、芝生広場、駐車場等
事業主体	横浜市

新港中央広場 (8街区)

新港地区のほぼ中央、赤レンガ倉庫と汽船道をつなぐ通景空間上に位置する緑地です。広大な原っぱと、季節感のある草花を楽しめるナチュラルガーデンが特徴です。



着工	2001 (平成13) 年度
オープン	2005 (平成17) 年6月
総面積	約1.1ha
主な施設	広場、植栽等
事業主体	横浜市

汽船道/運河パーク/プロムナード (17街区 ほか)

赤レンガ倉庫へつながる緑のネットワークとして、鉄道跡地のレールやトラス橋などの歴史的資産を活かした汽船道、運河パーク、水際線のプロムナードが整備されています。



■汽船道	■運河パーク	■プロムナード
着工	1995 (平成7) 年度	1998 (平成10) 年度
オープン	1997 (平成9) 年7月	1999 (平成11) 年9月
総面積	約1ha (延長約500m)	約1ha
主な施設	線路を活用した園路、トラス橋等	芝生広場、親水広場等
事業主体	横浜市	横浜市

日本丸メモリアルパーク (23街区)

帆船日本丸がシンボルとなっている緑地です。博物館 (P12参照) や展望棟があるほか、イベント対応が可能なアリーナ、シーカヤックパークや水辺に親しめる芝生広場があります。



着工	1984 (昭和59) 年
オープン	1985 (昭和60) 年4月 一部供用開始
総面積	約5.5ha
主な施設	帆船日本丸 (全長97m、船幅13m、きつ水約8m)、旧横浜船渠(株)第一号ドック、横浜みなと博物館、芝生広場、店舗等
事業主体	横浜市

高島中央公園 (51街区)

キング軸の中央に位置し、親しみを感じて利用できる多目的公園です。芝生広場やイベント対応が可能な広場、遊具やミスト噴水などが整備され、都心の貴重なオアシス空間となっています。



着工	2006 (平成18) 年3月
オープン	2007 (平成19) 年7月
総面積	約1.4ha
主な施設	芝生広場、イベント広場、遊具、ミスト噴水、災害用地下水タンク等
事業主体	独立行政法人都市再生機構

象の鼻パーク (3街区)

開港150周年を記念して整備した緑地です。明治期の姿に復元した防波堤や港を見渡すことのできる芝生の丘など、歴史と景観を活かした緑地で、夜は魅力的な夜間景観を演出しています。



着工	2006 (平成18) 年度
オープン	2009 (平成21) 年6月
総面積	約3.8ha
主な施設	レストハウス (象の鼻テラス)、芝生広場、親水護岸、防波堤等
事業主体	横浜市

カップヌードルミュージアムパーク (10街区)

臨港パークと対になるかたちで芝生広場や親水護岸が整備され、良好な港の景観が楽しめます。



着工	1998 (平成10) 年度
オープン	2001 (平成13) 年4月
総面積	約2ha
主な施設	芝生広場、親水護岸、災害用地下水タンク等
事業主体	横浜市

臨港パーク (19街区)

湾曲した水際線に沿って整備された地区内最大の緑地です。広大な芝生広場や親水護岸から横浜港が一望でき、イベントなどにも活用されています。



着工	1988 (昭和63) 年度
オープン	1989 (平成元) 年3月 一部供用開始
総面積	約9.3ha
主な施設	芝生広場、親水護岸、潮入りの池、駐車場、売店、災害用地下水タンク等
事業主体	横浜市

グランモール公園 (35街区 ほか)

グランモール軸を形成する公園で、パブリックアートや水・緑・光による空間づくりを施した広大なオープンスペースです。街の変化にあわせた魅力向上に向け、2015 (平成27) 年~2017 (平成29) 年度に、再整備を予定しています。



着工	1987 (昭和62) 年度
オープン	1999 (平成11) 年11月
総面積	約2.3ha (延長約700m、幅員標準部25m、最大部55m)
主な施設	円形広場、ヨーヨー広場、美術の広場、クロス・パティオ、災害用地下水タンク等
事業主体	横浜市、独立行政法人都市再生機構

高島水際線公園/水際線プロムナード (64街区 ほか)

帷子川の河口域に位置し、親水性と景観を活かした開放感ある公園です。また、みなとみらい大通りから国道1号までは、水際線プロムナードが整備されています。



■高島水際線公園	■水際線プロムナード
着工	2010 (平成22) 年10月
オープン	2011 (平成23) 年5月
総面積	約1.3ha
主な施設	芝生広場、親水護岸、潮入りの池等
事業主体	独立行政法人都市再生機構
着工	2006 (平成18) 年3月
オープン	2009 (平成21) 年7月
総面積	約0.2ha (延長約330m、幅員標準部約6m)
主な施設	歩行者用通路
事業主体	独立行政法人都市再生機構

快適なビジネス環境と多機能な空間を創出

みなとみらい21地区では、新しい都心の創造を目指して、最先端の業務・商業・文化などの機能集積を進めています。

中央地区

パシフィコ横浜 (横浜国際平和会議場) (18・22街区)

東日本唯一の国立国際会議場である「国立横浜国際会議場 (国立大ホール)」を中心として、会議場、展示ホール、ホテルなどから構成された複合コンベンション施設です。また、施設内には「横浜国際協力センター」が設置されています。



総敷地面積	約51,000㎡
総延床面積	約167,700㎡

国立横浜国際会議場

着工	1991 (平成3) 年9月
オープン	1994 (平成6) 年4月
延床面積	約16,700㎡
規模	地上7階、地下1階
施設内容	国立大ホール (最大5,002席)、マリノアビル等
設備	8か国同時通訳システム、大型映像システム等
事業主体	国土交通省、株式会社横浜国際平和会議場

展示ホール

着工	1989 (平成元) 年11月
オープン	1991 (平成3) 年10月、2001 (平成13) 年7月 拡張オープン
延床面積	約51,000㎡
規模	地上4階、地下2階
天井高	展示ホール/13~19m、アネックスホール/5.4~6.7m
展示面積	約20,000㎡ (展示ホールのみ)
施設内容	展示ホール (無柱一体構造)、アネックスホール、店舗等
設備	冷暖房・照明・音響・映像等各種設備等
事業主体	株式会社横浜国際平和会議場
運営主体	株式会社横浜国際平和会議場

会議センター

1988 (昭和63) 年12月
1991 (平成3) 年7月
約30,000㎡
地上7階、地下1階
メインホール (1,000席)、大・中・小会議室 (約50室)、店舗等
8か国同時通訳システム、映像設備等
株式会社横浜国際平和会議場

ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル

1988 (昭和63) 年12月
1991 (平成3) 年8月
約70,000㎡
地上31階、地下1階、高さ約140m
—
客室 (594室)、宴会場、店舗等
—
株式会社横浜国際平和会議場
インターコンチネンタルホテルズ&リゾーツ

横浜国際協力センター

横浜国際協力センターでは、各種の国際機関が活動しています。

国際機関
国際熱帯木材機関 (ITTO)
国際連合世界食糧計画 (WFP) 日本事務所
国際連合食糧農業機関 (FAO) 日本事務所
シディネット横浜プロジェクトオフィス (CITYNET)
アメリカカナダ大学連合日本研究センター (IUC)

クイーンズスクエア横浜 (24街区)

先導的なモデル街区で、オフィス、商業、ホテル、コンサートホールなどを集積した複合施設です。建物を貫いてクイーン軸を形成する歩行者空間が整備されています。



着工	1994 (平成6) 年2月
オープン	1997 (平成9) 年7月 (ホテル: 8月)
敷地面積	約44,400㎡
延床面積	約496,000㎡
規模	タワーA棟: 地上36階、地下5階、高さ約172m タワーB棟: 地上28階、地下5階、高さ約138m タワーC棟: 地上21階、地下5階、高さ約109m ホテル棟: 地上25階、地下5階、高さ約105m タワーA・B・C棟: オフィス、歩行者モール、ギャラリー、店舗、横浜みなとみらいホール等
施設内容	ホテル棟: 横浜ベイホテル東急 (客室480室)、店舗等
事業主体	三井住友信託銀行株式会社、三菱地所株式会社、日揮株式会社、横浜市

横浜みなとみらいホール

横浜で初めての大規模なクラシック専用コンサートホールです。

着工	1994 (平成6) 年2月
オープン	1998 (平成10) 年6月 (小ホール: 2月)
延床面積	約18,600㎡
規模	地上7階、地下1階、高さ約41m
施設内容	大ホール (2,020席)、小ホール (440席)、レセプションルーム、リハーサル室、音楽練習室等
事業主体	横浜市
運営主体	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団・東急グループ・株式会社東京舞台照明共同事業体

横浜みなと博物館 (23街区)

「歴史と暮らしのなかの横浜港」を展示のテーマとしており、横浜港の150年以上にわたる歴史や横浜港の仕組みと役割が、楽しみながら学べます。海や船に関する企画展も開催しています。



着工	1987 (昭和62) 年
オープン	1989 (平成元) 年3月 ※リニューアル前の名称は「横浜マリタイムミュージアム」
総面積	約7,200㎡
施設内容	博物館
事業主体	横浜市

横浜ランドマークタワー (25街区)

東日本一の超高層ビルで、地区全体のスカイラインの頂点を形成しています。オフィス、ホテル、商業に加え、展望フロアや多目的ホールなどを持つ複合施設です。ショッピングモールは、クイーン軸の一部を形成しています。



着工	1990 (平成2) 年3月
オープン	1993 (平成5) 年7月 (ホテル: 9月)
敷地面積	約38,000㎡
延床面積	約393,000㎡
規模	高層棟: 地上70階、地下3階、高さ約296m 低層棟: 地上5階 (一部7階)、地下4階
施設内容	高層棟: オフィス、横浜ロイヤルパークホテル (客室603室)、展望フロア「スカイガーデン」等 低層棟: 店舗、ランドマークホール (500人収容)、ドックヤードガーデン等
事業主体	三菱地所株式会社

ドックヤードガーデン

1896 (明治29) 年に竣工した旧横浜船渠(株)第二号ドックを解体、復元し、広場として活用しています。現存する商船用石造りドックとしては最古の、国の重要文化財、横浜市認定歴史的建造物に指定されています。

オープン	1993 (平成5) 年7月
規模	地下2階、底部: 長さ約100m、幅員約14m、深さ約10m
施設内容	野外イベントスペース
事業主体	三菱地所株式会社

クロスゲート (26街区)

桜木町駅前に立地する複合商業施設で、地区内初のビジネスホテルのほか、オフィス、商業施設などで構成されています。



着工	1998 (平成10) 年4月
オープン	2000 (平成12) 年10月
敷地面積	約3,300㎡
延床面積	約37,000㎡
規模	地上25階、地下2階、高さ約100m
施設内容	オフィス、店舗、横浜桜木町ワシントンホテル (客室553室) 等
事業主体	オリックス不動産投資法人

横浜桜木郵便局 (27街区)

郵便制度発足の翌年1870(明治3)年に開局した由緒ある横浜桜木郵便局の歴史と伝統を同地に継承しています。

着工	1996(平成8)年4月
オープン	1997(平成9)年4月
敷地面積	約1,100㎡
延床面積	約6,700㎡
規模	地上7階、高さ約34m
施設内容	郵便局
事業主体	日本郵便株式会社



TOCみなとみらい (28街区)

桜木町駅前広場に面して、ショッピングゾーン、ホテル、シネマコンプレックス、オフィスなどが集積する複合施設です。動く歩道とペDESTリアンデッキで接続しています。

着工	2007(平成19)年9月
オープン	2010(平成22)年3月
敷地面積	約10,800㎡
延床面積	約105,900㎡
規模	地上19階、地下1階、高さ約94m
施設内容	店舗、ニューオータニ横浜(客室240室)、シネマコンプレックス、オフィス等
事業主体	株式会社テアオーシー



横浜銀行本店ビル (30街区)

横浜銀行の本店ビルとして、業務の多様化に対応しています。また、多目的ホールなどの施設も設けられています。

着工	1990(平成2)年12月
オープン	1993(平成5)年9月
敷地面積	約8,000㎡
延床面積	約86,000㎡
規模	高層棟:地上28階(低層棟:地上4階)、地下3階、高さ約152m
施設内容	高層棟:オフィス、店舗等 低層棟:はまぎんホール・ヴィアマーレ(500人収容)等
事業主体	株式会社横浜銀行



みなとみらい21クリーンセンター (31街区)

各施設から排出される廃棄物を、空気の流れを利用した輸送システムにより収集する施設です。各施設の投入口から投入された廃棄物は共同溝等に収容された輸送管を経て当施設へ送られ、焼却工場へ車両輸送されます。

着工	1988(昭和63)年4月
オープン	1991(平成3)年5月
敷地面積	約2,000㎡
延床面積	約6,700㎡
規模	地上7階、地下1階、高さ約40m
施設内容	廃棄物管路収集施設
事業主体	横浜市



神奈川県警察みなとみらい分庁舎 (32街区)

戸部警察署みなとみらい交番があり、区内警備の拠点となっています。国際会議や大規模イベント開催時には、警護・警備の指揮所をはじめ、部隊待機も可能です。

着工	1998(平成10)年11月
オープン	2000(平成12)年3月
敷地面積	約600㎡
延床面積	約1,400㎡
規模	地上4階、地下2階、高さ約20m
施設内容	交番等
事業主体	神奈川県



富士ソフトビル (27街区)

富士ソフト(株)の本社ビルで、フロアごとにデザインが異なるオフィス空間が特徴です。桜木町駅前からペDESTリアンデッキで接続しています。

着工	2002(平成14)年4月
オープン	2004(平成16)年3月
敷地面積	約2,800㎡
延床面積	約30,000㎡
規模	地上21階、地下2階、高さ約105m
施設内容	オフィス、店舗、ギャラリー等
事業主体	富士ソフト株式会社



県民共済プラザビル (29街区)

神奈川県民共済生活協同組合が本部機能と結婚式場やホールなどの会員利用施設を集積しました。動く歩道とペDESTリアンデッキで接続しています。

着工	2002(平成14)年5月
オープン	2004(平成16)年3月
敷地面積	約1,600㎡
延床面積	約16,000㎡
規模	地上14階、地下2階、高さ約70m
施設内容	オフィス、県民共済みらいホール(300席)、結婚式場等
事業主体	神奈川県民共済生活協同組合



日石横浜ビル (30街区)

機能性、快適性、安全性を融合させたオフィスビルです。ホールやサービスステーションも設けられています。

着工	1994(平成6)年7月
オープン	1997(平成9)年7月
敷地面積	約6,600㎡
延床面積	約75,000㎡
規模	地上30階、地下2階、高さ約133m
施設内容	オフィス、店舗、日石横浜ホール(400人収容)、会議室、サービスステーション等
事業主体	JX日鉱日石エネルギー株式会社、JX日鉱日石不動産株式会社



けいゆう病院 (32街区)

「アメニティ」・「ホスピタリティ」・「インターナショナル」の3つのテーマに基づいた快適な医療環境を備えた地区内唯一の総合病院です。

着工	1993(平成5)年2月
オープン	1996(平成8)年1月
敷地面積	約8,000㎡
延床面積	約34,500㎡
規模	地上13階、地下3階、高さ約60m
施設内容	診療施設(病床数410床)、店舗等
事業主体	一般財団法人神奈川県警友会



(仮称)MM21地区 32街区プロジェクト (32街区)

計画 国際大通りに面する大規模オフィスビル計画です。免震構造の採用及び1フロア800坪を超えるフロア面積の確保により大手企業を誘致しやすい環境を整備する予定です。

着工	2015(平成27)年(予定)
竣工	2017(平成29)年(予定)
敷地面積	約7,000㎡
延床面積	約55,000㎡
規模	地上14階、高さ約71m
施設内容	オフィス、店舗、駐車場等
事業主体	東急不動産株式会社



みなとみらいビジネススクエア (33街区)

みなとみらい駅に地下通路で直結したオフィスビルです。東京海上日動火災保険(株)が自社使用するとともに、テナントオフィスとしても使用しています。

着工	2002(平成14)年7月
オープン	2004(平成16)年9月
敷地面積	約3,300㎡
延床面積	約29,100㎡
規模	地上14階、地下2階、高さ約60m
施設内容	オフィス、店舗等
事業主体	東京海上日動火災保険株式会社



みなとみらいセンタービル (33街区)

けやき通りに面し、みなとみらい駅に直結したオフィスビルです。1階には広場と連続した開放的な空間が設置されています。【CASBEE横浜 Sランク取得】

着工	2007(平成19)年9月
オープン	2010(平成22)年6月
敷地面積	約10,100㎡
延床面積	約95,200㎡
規模	地上21階、地下2階、高さ約100m
施設内容	オフィス、店舗等
事業主体	オーディーケー特定目的会社



横浜美術館 (36街区)

近・現代美術を対象とした総合美術館です。「観る」だけでなく「創る」、「学ぶ」という要素を加えた新しいタイプの美術館で、国際的・文化的な芸術活動の拠点となっています。

着工	1985(昭和60)年12月
オープン	1989(平成元)年11月
敷地面積	約19,800㎡
延床面積	約26,800㎡
展示面積	約3,000㎡
規模	地上8階、高さ約45m
施設内容	展示室、レクチャーホール(240席)、ミュージアムショップ、美術図書室、アトリエ等
事業主体	横浜市
運営主体	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団・相鉄エージェンシー・三菱地所ビルマネジメント共同事業体



横浜メディアタワー (41街区)

(株)NTTドコモの情報・通信機能が集約されています。また、21階には、横浜市防災行政用無線統制室が設けられています。

着工	1997(平成9)年5月
オープン	1999(平成11)年5月(通信用タワー:10月)
敷地面積	約6,500㎡
延床面積	約53,000㎡
規模	地上22階、地下2階、高さ約105m (地上から通信用タワー上部まで約253m)
施設内容	オフィス、情報通信施設、店舗等
事業主体	株式会社NTTファシリティーズ、株式会社NTTドコモ



みなとみらいグランドセントラルタワー (42街区)

賑わい豊かな商業施設と、水と緑に充ちた大規模な屋外広場を有する高層オフィスビルです。また、環境への取組として、太陽光パネルや電気自動車用急速充電器の設置、壁面緑化等が実施されています。【CASBEE横浜 Sランク取得】

着工	2009(平成21)年1月
オープン	2012(平成24)年1月
敷地面積	約13,000㎡
延床面積	約114,500㎡
規模	地上26階、地下2階、高さ約120m
施設内容	オフィス、店舗等
事業主体	三井住友信託銀行株式会社



MMパークビル (33街区)

みなとみらい駅に直結し、利便性に優れたオフィスビルです。緑豊かな中庭や屋上に小型風力発電機を設置するなど、環境への新しい取組も行われています。

着工	2006(平成18)年5月
オープン	2007(平成19)年12月
敷地面積	約6,800㎡
延床面積	約52,000㎡
規模	地上16階、地下1階、高さ約72m
施設内容	オフィス、店舗等
事業主体	ジャパンリアルエステイト投資法人



MARK IS みなとみらい (34街区)

横浜美術館、グランモール公園前という立地を活かし、みなとみらいの賑わいの拠点となる商業施設で、保育所も併設しています。地下階ではみなとみらい駅と直結し、みなとみらい21地区内の利便性の向上を図っています。

着工	2011(平成23)年5月
オープン	2013(平成25)年6月
敷地面積	約18,000㎡
延床面積	約116,000㎡
規模	地上6階、地下4階、高さ約37m
施設内容	店舗、保育所等
事業主体	エムエムデベロップメント特定目的会社(三菱地所株式会社)



三菱重工横浜ビル (37街区)

三菱重工業(株)が入居するとともにテナントオフィスとしても使用しています。また、科学技術を親しみやすく紹介した展示施設「三菱みなとみらい技術館」が併設されています。

着工	1992(平成4)年4月
オープン	1994(平成6)年6月
敷地面積	約10,000㎡
延床面積	約110,900㎡
規模	地上33階、地下2階、高さ約152m
施設内容	オフィス、店舗、三菱みなとみらい技術館等
事業主体	三菱重工業株式会社



リーフみなとみらい (42街区)

家具・インテリアのショールームをメインに、各種専門店やカフェを備えた商業施設です。1階のアトリウムは、コミュニティスペースとなっています。

着工	2002(平成14)年4月
オープン	2004(平成16)年4月
敷地面積	約5,500㎡
延床面積	約47,700㎡
規模	地上12階、地下4階、高さ約70m
施設内容	ショールーム、店舗
事業主体	みずほ信託銀行株式会社、ヒューリック株式会社



PRYME GALLERYみなとみらい (43街区)

みなとみらい大通りに面した、自動車ショールーム、大型家具店、紳士服店を備えた商業施設です。

着工	2013(平成25)年6月
オープン	2014(平成26)年4月
敷地面積	約7,800㎡
延床面積	約12,000㎡
規模	地上2階、高さ約12m
施設内容	ショールーム、店舗等
事業主体	岡田ビル株式会社



アルカエフ (44街区)

ホームセンターや生鮮食料品店、飲食店などで構成された生活をサポートする商業施設です。障害者が参加するNPOのコミュニティーサロンも併設されています。



着工	2002 (平成14) 年10月
オープン	2003 (平成15) 年4月
敷地面積	約19,200㎡
延床面積	約13,100㎡
規模	地上2階
施設内容	店舗等
事業主体	株式会社横浜都市みらい

横浜ブルーアベニュー (46街区)

みなとみらい大通りに面するオフィスビルで、環境に配慮し、緑豊かな広場が整備されています。



着工	2007 (平成19) 年9月
オープン	2009 (平成21) 年12月
敷地面積	約5,500㎡
延床面積	約52,000㎡
規模	地上17階、地下2階、高さ約85m
施設内容	オフィス、店舗等
事業主体	みずほ信託銀行株式会社

横浜野村ビル (46街区)

建設中 免震構造・コジェネレーションシステム等を採用したBCP性能に優れたオフィスビルを計画しています。低層部には店舗を配置することで、賑わいの空間を創出します。



イメージ

着工	2015 (平成27) 年3月
竣工	2017 (平成29) 年1月 (予定)
敷地面積	約9,000㎡
延床面積	約82,000㎡
規模	地上17階、高さ約89m
施設内容	オフィス、店舗等
事業主体	野村不動産株式会社

シンクロン本社ビル/新館 (増築棟) (49街区)

2008年にオープンした本社ビルに隣接して増築棟が完成しました。中間免震構造を導入し災害耐久性を強化しています。クリーンルームを導入したほか、認可保育所を併設しました。



着工	2013 (平成25) 年2月 (新館)
オープン	2014 (平成26) 年10月 (新館) (保育所: 7月)
敷地面積	約3,000㎡ (本館&新館)
延床面積	約14,000㎡ (本館&新館)
規模	地上7階、地下1階、高さ約40m (新館)
施設内容	オフィス、クリーンルーム、認可保育所等 (新館)
事業主体	株式会社シンクロン

(仮称)オーケーみなとみらい本社ビル (59街区A区画) / (仮称)MM59街区B区画開発計画 (59街区B区画)

建設中 ウォーターフロントの立地特性を活かすことを街区全体のコンセプトとし、大型スーパーと本社機能を併設した施設 (A区画) と、住宅、ホテル、商業施設が併設された複合施設 (B区画) を計画しています。

(仮称)オーケーみなとみらい本社ビル

着工	2014 (平成26) 年12月
竣工	2016 (平成28) 年1月 (予定)
敷地面積	約6,900㎡
延床面積	約51,400㎡
規模	地上11階、高さ約44m
施設内容	オフィス、店舗
事業主体	オーケー株式会社



イメージ

グローバルラーニングセンター (45街区)

グランモール公園に面し、グローバル人材の育成を目的とした研修所と店舗からなる施設です。



着工	2013 (平成25) 年10月
竣工	2015 (平成27) 年1月
敷地面積	約7,600㎡
延床面積	約35,700㎡
規模	地上8階、高さ約42m
施設内容	研修所、店舗
事業主体	株式会社三菱東京UFJ銀行、三菱地所株式会社

横浜アイマークプレイス (46街区)

グランモール公園に面し、フロア面積が国内最大級のオフィスビルです。免震構造、テナント専用の非常用発電設備等、BCP (事業継続性) と環境負荷対策を兼ね備えた施設です。



着工	2012 (平成24) 年12月
オープン	2014 (平成26) 年5月
敷地面積	約11,500㎡
延床面積	約97,200㎡
規模	地上14階、高さ約65m
施設内容	オフィス、店舗等
事業主体	MM21-46特定目的会社 (清水建設株式会社)

横浜アンパンマン子どもミュージアム&モール (48街区)

キャラクター「アンパンマン」をテーマにしたミュージアム施設で、ショッピングモールや飲食店が併設されています。



©やなせ・F・T・N

着工	2006 (平成18) 年10月
オープン	2007 (平成19) 年4月
敷地面積	約6,800㎡
延床面積	約92,200㎡
規模	地上3階、高さ約20m
施設内容	展示場、店舗等
事業主体	株式会社横浜都市みらい、株式会社ACM

(仮称)MM21地区55-2街区開発計画 (55-2街区)

計画中 学校法人鶴見歯科学園が、創立50周年記念事業として新校舎建設を計画中です。学校施設に加えて、附属歯科診療所・ギャラリー・商業施設等を併設する予定です。



イメージ

着工	2015 (平成27) 年6月 (予定)
竣工	2016 (平成28) 年7月 (予定)
敷地面積	約3,600㎡
延床面積	約11,000㎡
規模	地上8階、高さ約33m
施設内容	学校、診療所、ギャラリー、商業施設
事業主体	学校法人鶴見歯科学園

(仮称)MM59街区B区画開発計画

着工	2015 (平成27) 年1月
竣工	2017 (平成29) 年3月 (予定)
敷地面積	約9,100㎡
延床面積	約61,600㎡
規模	共同住宅: 地上27階、地下1階、高さ約97m ホテル・店舗: 地上20階、地下1階、高さ約80m
施設内容	住宅、ホテル、店舗
事業主体	岡田ビル株式会社



イメージ

国土交通省関東地方整備局京浜港湾事務所 (59街区)

関東圏の地域生活に直結している京浜港 (横浜・川崎地区) 及び横須賀港を管轄し、国が行う港湾施設の整備を実施しています。



着工	2006 (平成18) 年3月
オープン	2007 (平成19) 年2月
敷地面積	約4,000㎡
延床面積	約2,000㎡
規模	地上4階、高さ約16m
施設内容	オフィス等
事業主体	独立行政法人都市再生機構、国土交通省

マリノスタウン (61街区)

天然芝のグラウンドやクラブハウス、スタンド棟などが設置されています。プロサッカーチーム「横浜F・マリノス」の活動拠点となる施設です。



着工	2005 (平成17) 年4月
オープン	2007 (平成19) 年1月
敷地面積	約45,600㎡
延床面積	約7,200㎡
規模	地上3階、高さ約12m
施設内容	サッカーグラウンド (天然芝2面、人工芝2面)、スタンド (約2,020席)、クラブハウス、オフィス、店舗等
事業主体	日産グループ (日産自動車株式会社、横浜マリノス株式会社)

日産自動車株式会社 グローバル本社 (66街区)

日産自動車 (株) の本社機能やギャラリーなどを備えたオフィスビルです。建物を貫いて「はまみらいウォーク」と「みなとみらい歩道橋」を結び歩行者空間が整備されています。【CASBEE横浜 Sランク取得】



着工	2007 (平成19) 年1月
オープン	2009 (平成21) 年8月
敷地面積	約10,000㎡
延床面積	約92,300㎡
規模	地上22階、地下2階、高さ約100m
施設内容	オフィス、ギャラリー等
事業主体	日産自動車株式会社

高層 (都市型) 住宅 (32・39・40・41・50・59街区)

■ ブランズタワーみなとみらい (32街区)

建設中	着工	2014 (平成26) 年10月
	竣工	2017 (平成29) 年1月 (予定)
	敷地面積	約3,000㎡
	延床面積	約26,500㎡
	規模	地上29階、地下1階、高さ約100m
	施設内容	分譲集合住宅 (全228戸)、店舗等
	事業主体	東急不動産株式会社

■ M. M. TOWERS (39街区)

着工	2000 (平成12) 年9月
竣工	2003 (平成15) 年10月
敷地面積	約16,300㎡
延床面積	約116,200㎡
規模	地上30階、地下1階、高さ約100m、3棟
施設内容	分譲集合住宅 (全862戸)、店舗等
事業主体	三菱地所株式会社、前田建設工業株式会社

■ M. M. TOWERS FORESIS (40街区)

着工	2004 (平成16) 年11月
竣工	2008 (平成20) 年2月
敷地面積	約20,600㎡
延床面積	約155,100㎡
規模	地上30階、地下1階、高さ約100m、2棟
施設内容	分譲集合住宅 (全1,206戸)
事業主体	三菱地所株式会社、東京急行電鉄株式会社、三菱倉庫株式会社

■ M. M. MID SQUARE (41街区)

着工	2005 (平成17) 年5月
竣工	2007 (平成19) 年6月
敷地面積	約10,000㎡
延床面積	約82,000㎡
規模	地上31階、地下1階、高さ約100m
施設内容	分譲集合住宅 (全650戸)、店舗、保育所等
事業主体	株式会社ランド、オリックス不動産株式会社、東急不動産株式会社、三井物産株式会社

■ パシフィックロイヤルコートみなとみらい (50街区)

オーシャンタワー	着工	2005 (平成17) 年8月
	竣工	2007 (平成19) 年11月
	敷地面積	約5,000㎡
	延床面積	約45,600㎡
	規模	地上29階、地下1階、高さ約100m
	施設内容	賃貸集合住宅 (全412戸)、店舗等
	事業主体	ディエイチ開発みなとみらい有限会社
アーバンタワー	着工	2006 (平成18) 年2月
	竣工	2008 (平成20) 年6月
	敷地面積	約5,000㎡
	延床面積	約45,900㎡
	規模	地上29階、地下1階、高さ約100m
	施設内容	賃貸集合住宅 (全415戸)、店舗等
	事業主体	特定目的会社PDみなとみらい

■ Brillia Grande みなとみらい (50街区)

着工	2005 (平成17) 年2月
竣工	2007 (平成19) 年11月
敷地面積	約8,000㎡
延床面積	約73,700㎡
規模	地上30階、地下1階、高さ約100m、2棟
施設内容	分譲集合住宅 (全555戸)、店舗、ミニシアター等
事業主体	生活協同組合東京住宅供給センターほか

■ BLUE HARBOR TOWER みなとみらい (59街区 B区画)

建設中	着工	2015 (平成27) 年1月
	竣工	2017 (平成29) 年3月 (予定)
	敷地面積	約9,100㎡ (ホテル、店舗を含む)
	延床面積	約61,600㎡ (n)
	規模	地上27階、地下1階、高さ約97m
	施設内容	分譲集合住宅 (全355戸)、店舗等
	事業主体	岡田ビル株式会社 (分譲集合住宅売主: 近鉄不動産(株)、三井不動産レジデンシャル(株))

横浜駅東口地区

横浜新都市ビル/スカイビル (68街区)

みなとみらい21地区の横浜駅側からの開発起点となる先導的施設です。横浜新都市ビルは、文化・百貨店等の商業など、多様なニーズに応える「複合多目的空間」として、多くの市民に利用されています。スカイビルには、横浜シティ・エア・ターミナル (YCAT) があり、羽田・成田空港に直接アクセスできます。

横浜新都市ビル

着工	1983 (昭和58) 年10月
オープン	1985 (平成60) 年9月
敷地面積	約18,000㎡
延床面積	約185,000㎡
規模	地上10階、地下3階、高さ約55m
施設内容	商業施設 (そごう)、新都市ホール (994人収容)、文化施設、バスターミナル等
事業主体	横浜新都市センター株式会社、株式会社横浜スカイビル

スカイビル

1994 (平成6) 年2月
1996 (平成8) 年9月
約7,600㎡
約102,000㎡
地上30階、地下3階、高さ約132m
商業施設 (丸井ほか)、オフィス、YCAT等
株式会社横浜スカイビル、横浜新都市センター株式会社



新港地区

横浜海上防災基地 (1街区)

東京湾及び関東一円の海上防災拠点として災害発生時には被災者の救援活動など、海上災害応急対策拠点としても機能します。また、展示施設「海上保安資料館横浜館」も隣接されています。

着工	1991 (平成3) 年
オープン	陸上施設:1995 (平成7) 年4月 海上施設:1996 (平成8) 年3月
敷地面積	約27,000㎡
延床面積	約13,300㎡
規模	地上4階、地下1階
施設内容	オフィス、訓練施設、船艇施設、海上保安資料館横浜館等
事業主体	海上保安庁第三管区海上保安本部



赤レンガ倉庫 (2街区)

歴史的建造物「赤レンガ倉庫」が、文化・商業施設として利用されています。「港の賑わいと文化を創造する空間」をコンセプトに、市民文化の活動拠点である1号倉庫、飲食店・店舗が集まった2号倉庫及びイベント広場が一体となって新たな賑わいを創出しています。

改修工事着工	1994 (平成6) 年6月
オープン	2002 (平成14) 年4月
敷地面積	約14,000㎡
事業主体	横浜市

1号倉庫 (文化施設)

延床面積	約5,600㎡
規模	地上3階、高さ約18m
建築年	明治41年~大正2年
施設内容	多目的ホール、多目的スペース、店舗等
運営主体	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

2号倉庫 (商業施設)

延床面積	約10,800㎡
規模	地上3階、高さ約18m
建築年	明治40年~明治44年
施設内容	店舗等
運営主体	株式会社横浜赤レンガ

イベント広場

面積	約6,500㎡
施設内容	野外イベントスペース
運営主体	横浜赤レンガ倉庫共同事業体



(仮称)MM21新港地区4街区開発事業 (4街区)

建設中 ウォーターフロントの敷地に、低層の分棟形式で展開する、ライフスタイル提案型の商業施設開発事業であり、みなとみらい21地区の新たな魅力を形成するものです。

着工	2014 (平成26) 年10月
竣工	2016 (平成28) 年2月 (予定)
敷地面積	約7,100㎡
延床面積	約13,400㎡
規模	地上2階 (一部地上5階)、地下1階、高さ約20m
施設内容	店舗等
事業主体	三菱商事都市開発株式会社



イメージ

JICA横浜 (11-1街区)

(独)国際協力機構 (JICA) の神奈川県における総合窓口として国際協力を行っています。また、日本の海外移住の歴史と現在を伝える「海外移住資料館」が併設されています。

着工	2000 (平成12) 年11月
オープン	2002 (平成14) 年12月
敷地面積	約4,500㎡
延床面積	約16,000㎡
規模	地上8階、地下1階、高さ約36m
施設内容	JICAプラザ、研修・宿泊室 (108室)、図書資料室、海外移住資料館等
事業主体	独立行政法人国際協力機構 (JICA)



新港地区

カップヌードルミュージアム (11-2街区)

インスタントラーメンにまつわる様々な展示や体験工房などを通じ、発明・発見の大切さやベンチャーマインドについて楽しみながら学べる体験型ミュージアムです。

着工	2010 (平成22) 年11月
オープン	2011 (平成23) 年9月
敷地面積	約4,000㎡
延床面積	約10,000㎡
規模	地上5階、地下1階、高さ約26m
施設内容	展示、参加体験型アトラクション、飲食施設、ミュージアムショップ等
事業主体	公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団、日清食品ホールディングス株式会社



グランドオリエンタルみなとみらい (11-2街区)

横浜港を臨むバンケットを配置した結婚式場です。チャペルやミニコンサートホールなどに供される音楽堂、カフェ、レストランも併設されています。

着工	2012 (平成24) 年11月
オープン	2013 (平成25) 年11月
敷地面積	約4,000㎡
延床面積	約7,200㎡
規模	地上6階、高さ約31m
施設内容	結婚式場、カフェ、レストラン等
事業主体	株式会社プライダプロデュース、株式会社プライダプロデュース横浜



横浜ワールドポーターズ (12・14街区)

世界各国の商品を扱った店舗やシネマコンプレックスのほか、横浜ワールドビジネスサポートセンターや会議室なども設置されています。

着工	1997 (平成9) 年12月
オープン	1999 (平成11) 年9月
敷地面積	約20,000㎡
延床面積	約100,400㎡
規模	地上6階 (駐車場部:9階)、地下1階、高さ約45m
施設内容	卸・小売店舗、シネマコンプレックス、オフィス、会議室等
事業主体	株式会社横浜インポートマート



よこはまコスモワールド (15街区 ほか)

世界最大級の時計機能を持つ大観覧車「コスモクロック21」をシンボルとした都市型遊園地です。

着工	1997 (平成9) 年10月
オープン	1999 (平成11) 年3月
敷地面積	約22,700㎡
延床面積	約15,500㎡
規模	地上5階、高さ約31m
施設内容	結婚式場、カフェ等
事業主体	泉陽興業株式会社



Audiみなとみらい (11-2街区)

Audi独自のコーポレートアイデンティティを導入した国内最大級のフラッグシップ・ショールームです。カフェ、Audiショップも併設されています。

着工	2012 (平成24) 年10月
オープン	2013 (平成25) 年8月
敷地面積	約4,500㎡
延床面積	約5,600㎡
規模	地上4階、高さ約20m
施設内容	ショールーム、整備工場、カフェ、Audiショップ、研修施設等
事業主体	アウディジャパン販売株式会社、アウディジャパン株式会社



横浜みなとみらい万葉倶楽部 (11-3街区)

横浜港を一望できる総合温泉レジャー施設です。神奈川県内の源泉から運搬した温泉を利用した大浴場や露天風呂、食事処のほか、宿泊施設も備えています。

着工	2004 (平成16) 年3月
オープン	2005 (平成17) 年6月
敷地面積	約4,100㎡
延床面積	約20,600㎡
規模	地上8階、高さ約31m
施設内容	大浴場、露天風呂、リラクゼーション施設、宴会場、客室 (約60室) 等
事業主体	万葉倶楽部株式会社



横浜国際船員センター「ナビオス横浜」 (13街区)

船員、海事関係者の憩いと活動の拠点となる宿泊施設です。赤レンガ倉庫と自動車をつなぐ通景空間を確保するため、門型の構えをした特徴的な建物です。

着工	1997 (平成9) 年12月
オープン	1999 (平成11) 年10月
敷地面積	約4,300㎡
延床面積	約11,700㎡
規模	地上10階、地下1階、高さ約44m
施設内容	客室 (135室)、店舗、会議室等
事業主体	一般財団法人日本船員厚生協会



アニヴェルセル みなとみらい横浜 (16街区)

みなとみらいを一望できる結婚式場です。2つのチャペルと7つのパーティー会場を備え、ウェディングパーティーを承るほか、プロムナードに面して一般の方が利用できるカフェなども併設されています。

着工	2012 (平成24) 年9月
オープン	2014 (平成26) 年2月
敷地面積	約18,000㎡
延床面積	約15,500㎡
規模	地上5階、高さ約31m
施設内容	結婚式場、カフェ等
事業主体	アニヴェルセル株式会社



Invitation to MINATOMIRAI 21

みなとみらい21地区の安全で高水準な都市インフラや多彩な交通アクセス及び進出企業への支援制度等を取りまとめた開発事業者募集パンフレット「Invitation to MINATOMIRAI21」や、外国語対応医療機関及び外国語での対応を行なっている子どもの教育施設等を取りまとめた国際企業誘致パンフレット「Invitation to MINATOMIRAI A Safe and Comfortable City for International Companies」も是非ご覧ください。

URL <http://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/mm21/pdf/invitation.pdf>
<http://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/mm21/pdf/invitation2.pdf>

開発事業者募集パンフレット

国際企業誘致パンフレット

みなとみらい21 事業の経過

- 1965(昭和40)年**
 - 2月 ●横浜市が「6大事業」の一つとして「都心部強化事業」を発表
- 1978(昭和53)年**
 - 11月 ●横浜市都心臨海部総合整備計画調査委員会(八十島義之助委員長)が発足
- 1979(昭和54)年**
 - 12月 ●横浜市都心臨海部総合整備計画調査委員会が基本構想を報告
- 1980(昭和55)年**
 - 3月 ●三菱重工業(株)横浜造船所の移転が決定
- 1981(昭和56)年**
 - 7月 ●横浜市が「都心臨海部総合整備基本計画(中間案)」を発表
 - 横浜市都心臨海部総合整備事業推進本部が発足
 - 10月 ●計画及び事業の名称を「みなとみらい21」に決定
- 1983(昭和58)年**
 - 2月 ●土地区画整理事業などの都市計画決定
 - 3月 ●三菱重工業(株)横浜造船所の移転完了
 - 8月 ●帆船日本丸の横浜市移管が決定
 - 11月 ●公有水面埋立免許に係る運輸大臣の認可
 - 土地区画整理事業に係る建設大臣の事業認可(35.1ha)
 - みなとみらい21事業着工
- 1984(昭和59)年**
 - 2月 ●みなとみらい21埋立事業礎石沈定式
 - 7月 ●(株)横浜みなとみらい21設立(2009年3月解散)
- 1985(昭和60)年**
 - 4月 ●日本丸メモリアルパーク一部供用開始
 - 帆船日本丸の一般公開開始
 - 9月 ●横浜新都市ビルオープン(1983年着工)
- 1986(昭和61)年**
 - 10月 ●みなとみらい21熱供給(株)設立
- 1987(昭和62)年**
 - 6月 ●(株)横浜国際平和会議場設立
 - 8月 ●中央地区第一工区(4.3ha)埋立竣功認可
- 1988(昭和63)年**
 - 4月 ●みなとみらい21中央地区土地区画整理事業区域の一部に仮換地を指定(63.4ha)
 - 7月 ●みなとみらい21街づくり基本協定を締結
- 1989(平成元)年**
 - 2月 ●桜木町駅前広場の供用開始
 - 3月 ●みなとみらい21中央地区地域冷暖房施設センタープラント竣工火入れ式
 - 動く歩道竣工
 - 横浜博覧会(YES'89)開幕(~10月)
 - 横浜マリタイムミュージアム(現:横浜みなと博物館)オープン
 - 臨港パーク一部供用開始
 - 美術の広場オープン
 - 横浜高速鉄道(株)設立
 - 5月 ●みなとみらい21中央地区の町名、住居表示を「みなとみらい」に決定
 - 10月 ●みなとみらい21中央地区地区計画の都市計画決定
 - 11月 ●横浜美術館正式オープン(1985年着工)
- 1990(平成2)年**
 - 4月 ●横浜高速鉄道(株)がみなとみらい線の事業免許を取得

- 1991(平成3)年**
 - 7月 ●パシフィック横浜(横浜国際平和会議場)竣工(1989年着工)
 - 8月 ●ヨコハマ グランド インターコンチネンタルホテルオープン(1988年着工)
 - 国際熱帯木材機関(ITTO)の本部をパシフィック横浜に移転
 - 10月 ●パシフィック横浜展示ホール竣工(1989年着工)
 - 11月 ●みなとみらいふかりさん橋竣工(1991年着工)
 - テレポートよこはま'91(世界テレポート連合第7回総会)開催
- 1992(平成4)年**
 - 2月 ●アジア太平洋都市間協カネットワーク(CITYNET)パシフィック横浜に事務局を開設
 - 5月 ●みなとみらいランプ全方向供用開始
- 1993(平成5)年**
 - 2月 ●横浜業務核都市基本構想を国から承認
 - 6月 ●(財)ケーブルシティ横浜設立
 - 7月 ●横浜ランドマークタワーオープン(1990年着工)
 - 9月 ●横浜銀行本店ビルオープン(1990年着工)
 - 横浜ロイヤルパークホテルニッコー(現:横浜ロイヤルパークホテル)オープン
- 1994(平成6)年**
 - 4月 ●国際橋開通(国際大通り)
 - 国立横浜国際会議場オープン(1991年着工)
 - 6月 ●三菱重工横浜ビルオープン(1992年着工)
 - 12月 ●首都高速湾岸線開通(羽田~ベイブリッジ)
- 1995(平成7)年**
 - 4月 ●横浜海上防災基地完成(1992年着工)
 - 新港地区(一文字)埋立竣功認可(1988年免許取得)
 - 8月 ●第1回みなとみらい21地区合同防災訓練実施
- 1996(平成8)年**
 - 1月 ●けいゆう病院オープン(1993年着工)
 - 9月 ●スカイビルオープン(1994年着工)
 - 11月 ●高島地区(用品庫プール)埋立竣功認可(1994年免許取得)
- 1997(平成9)年**
 - 4月 ●新港地区地区計画の都市計画決定
 - 横浜桜木郵便局オープン(1996年着工)
 - 6月 ●みなとみらい21中央地区地域冷暖房施設第2プラント竣工(1994年着工)
 - 7月 ●クイーンズスクエア横浜オープン(1994年着工)
 - 日石横浜ビルオープン(1994年着工)
 - みなとみらい大通り一部暫定2車線区間を含め全線開通
 - 汽車道オープン
 - 8月 ●パン パシフィック ホテル 横浜(現:横浜ベイホテル東急)オープン
- 1998(平成10)年**
 - 3月 ●新港地区(突堤間)埋立竣功認可(1996年免許取得)
 - 6月 ●横浜みなとみらいホールオープン(小ホール)2月
- 1999(平成11)年**
 - 5月 ●横浜メディアタワーオープン(通信用タワー)10月(1997年着工)
 - 9月 ●新港地区街開き
 - 横浜ワールドポーターズオープン(1997年着工)
 - 運河パークオープン
 - 赤レンガパーク一部供用開始
 - 10月 ●横浜国際船員センター「ナビオス横浜」オープン(1997年着工)

- 11月 ●グランモール公園全面オープン
- 12月 ●新港サークルウォーク供用開始
- 2000(平成12)年**
 - 3月 ●神奈川県警察みなとみらい分庁舎オープン(1998年着工)
 - 10月 ●クロスゲートオープン(1998年着工)
- 2001(平成13)年**
 - 4月 ●新港パーク(現:カッパヌードルミュージアムパーク)オープン
 - 7月 ●パシフィック横浜展示ホール拡張(1999年着工)
 - 9月 ●第1回横浜トリエンナーレ開催
- 2002(平成14)年**
 - 3月 ●山下臨港線プロムナードオープン
 - 桜木町駅前歩行者広場完成
 - 4月 ●赤レンガ倉庫 赤レンガパークオープン(赤レンガ倉庫活用工事2000年着工)
 - 5月 ●2002FIFAワールドカップ開催(国際メディアセンター設置)
 - 12月 ●JICA横浜オープン(2000年着工)
- 2003(平成15)年**
 - 9月 ●土地区画整理事業の事業計画について変更認可(101.8haに拡大)
 - 10月 ●M.M. TOWERS竣工(2000年着工)
- 2004(平成16)年**
 - 2月 ●みなとみらい線開通(1992年着工)
 - 3月 ●ピア赤レンガオープン(2004年着工)
 - 富士ソフトABCビル(現:富士ソフトビル)オープン(2002年着工)
 - 県民共済プラザビルオープン(2002年着工)
 - 4月 ●「横浜市企業立地等促進特定地域における支援措置に関する条例(企業立地促進条例)」施行
 - リーフみなとみらいオープン(2002年着工)
 - 9月 ●みなとみらいビジネススクエアオープン(2002年着工)
- 2005(平成17)年**
 - 6月 ●横浜みなとみらい万葉倶楽部オープン(2004年着工)
 - 11月 ●第25回全国豊かな海づくり大会開催
- 2006(平成18)年**
 - 6月 ●土地区画整理事業換地処分公告
 - 7月 ●横浜みなとみらいスポーツパークオープン(2005年着工)
- 2007(平成19)年**
 - 1月 ●マリノスタウンオープン(2005年着工)
 - 2月 ●国土交通省関東地方整備局京浜港湾事務所復帰移転工事竣工(2006年着工)
 - 4月 ●横浜アンパンマンこどもミュージアム&モールオープン(2006年着工)
 - 6月 ●M.M. MID SQUARE竣工(2005年着工)
 - 7月 ●高島中央公園オープン
 - 11月 ●Brillia Grandeみなとみらい竣工(2005年着工)
 - 12月 ●MMIパークビルオープン(2006年着工)
- 2008(平成20)年**
 - 2月 ●M.M. TOWERS FORESIS竣工(2004年着工)
 - 4月 ●みなとみらい21中央地区景観計画・都市景観協議地区施行
 - 5月 ●第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)開催
 - 6月 ●パシフィックロイヤルコートみなとみらい竣工(2005年着工)
 - 8月 ●高島二丁目歩道橋供用開始
 - 10月 ●シンクロン本社ビルオープン(2007年着工)
 - 12月 ●みなとみらい橋開通(国際大通り)
- 2009(平成21)年**
 - 2月 ●一般社団法人横浜みなとみらい21設立

- 4月 ●日本丸メモリアルパークリニューアルオープン
 - 横浜開港150周年記念「開国博Y150」開幕(~9月)
- 6月 ●象の鼻パークオープン
- 7月 ●「海フェスタよこはま」開催
 - はまみらいウォーク、水際線プロムナード供用開始
- 8月 ●日産自動車株式会社 グローバル本社オープン(2007年着工)
- 12月 ●横浜ブルーアベニューオープン(2007年着工)
- 2010(平成22)年**
 - 1月 ●みなとみらい21新港地区景観計画・都市景観協議地区施行
 - 3月 ●TOCみなとみらいオープン(2007年着工)
 - みなとみらい歩道橋供用開始
 - 4月 ●富士ゼロックス R&D スクエアオープン(2008年着工)
 - 6月 ●みなとみらいセンタービルオープン(2007年着工)
 - 11月 ●APEC(アジア太平洋経済協力)首脳会議開催
- 2011(平成23)年**
 - 3月 ●土地区画整理事業完了
 - 5月 ●高島水際線公園オープン
 - 9月 ●カッパヌードルミュージアムオープン(2010年着工)
 - 12月 ●「環境未来都市」及び「国際戦略総合特区」指定
- 2012(平成24)年**
 - 1月 ●「特定都市再生緊急整備地域」指定
 - みなとみらいグランドセントラルタワーオープン(2009年着工)
 - 3月 ●横浜三井ビルディングオープン(2009年着工)
 - みなとみらい21エリアマネジメント憲章制定
- 2013(平成25)年**
 - 3月 ●みなとみらいトンネル開通
 - 6月 ●第5回アフリカ開発会議(TICAD V)開催
 - MARK ISみなとみらいオープン(2011年着工)
 - 8月 ●Audiみなとみらいオープン(2012年着工)
 - 11月 ●グランドオリエンタルみなとみらいオープン(2012年着工)
- 2014(平成26)年**
 - 2月 ●アニヴェルセルみなとみらい横浜オープン(2012年着工)
 - 3月 ●気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第38回総会開催
 - 4月 ●PRYME GALLERYみなとみらいオープン(2013年着工)
 - 5月 ●横浜アイマークプレイスオープン(2012年着工)
 - 10月 ●シンクロン新館(増築棟)オープン(2013年着工)
 - (仮称)MM21新港地区4街区開発事業着工
 - (仮称)MM21地区 32街区プロジェクト(住宅棟)着工
 - 12月 ●(仮称)オーケーみなとみらい本社ビル着工
- 2015(平成27)年**
 - 1月 ●(仮称)MM59街区B区画開発計画着工
 - グローバルレーニングセンター竣工(2013年着工)
 - 3月 ●横浜野村ビル着工



着工前のみなとみらい21地区(1980(昭和55)年)



1983(昭和58)年



1989(平成元)年



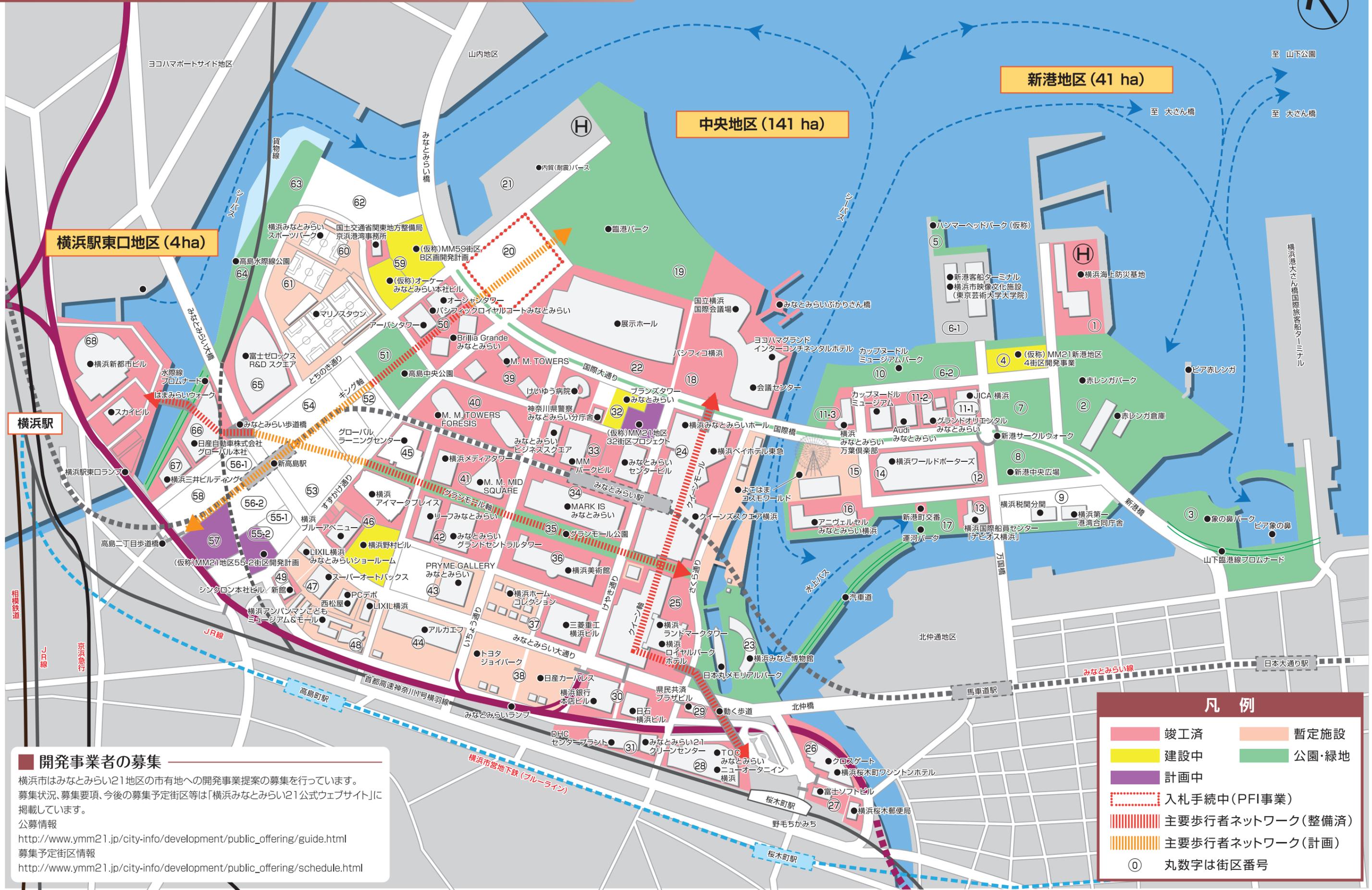
1994(平成6)年



2005(平成17)年



2015(平成27)年



横浜駅東口地区 (4ha)

中央地区 (141 ha)

新港地区 (41 ha)

横浜駅

開発事業者の募集

横浜市はみなとみらい21地区の市有地への開発事業提案の募集を行っています。
 募集状況、募集要項、今後の募集予定街区等は「横浜みなとみらい21公式ウェブサイト」に掲載しています。
 公募情報
http://www.ymm21.jp/city-info/development/public_offering/guide.html
 募集予定街区情報
http://www.ymm21.jp/city-info/development/public_offering/schedule.html

凡例

- 竣工済
- 建設中
- 計画中
- 入札手続中(PFI事業)
- 主要歩行者ネットワーク(整備済)
- 主要歩行者ネットワーク(計画)
- 丸数字は街区番号
- 暫定施設
- 公園・緑地